

新型投映機を導入



太田所長（右端）から新たに導入された投映機の説明を受ける市議会公明党のメンバー

星々の輝き楽しんで

千葉県船橋市は7月、市総合教育センターのプラネタリウム館をリニューアルオープンさせた。

新型の光学式プラネタリウム「パンドラⅡ EX」を導入し、これまで使われていた投映機は施設内に展示した。新型は、実際に観測されたデータに基づき、従来機の4000倍以上となる4000万個を超える恒星を投映する。また、より快適に鑑賞できるよう座席を一新したほか、展示ホールはかの充実が図られた。市総合教育センターの太田由

紀所長は「これまで以上に星々の輝きや天体を楽しんでもらえる環境を整えた。多くの人に足を運んでほしい」と期待を寄せる。

投映プログラムは「幼児」「キッズ」「一般」向けに分かれ各1日1回。観覧料は一般500円、高校生250円、小中学生120円、4歳以上60円（市内在住の中学生以下は無料）。

市議会公明党（松寄裕次幹事長）は、予算要望を通してプラネタリウム館のリニューアルを求めている。